

# 平成26年度 学 校 経 営 方 針

校長 米 村 昭 則

## I はじめに

本校は、3学級複式の小規模校である。全国的に複式・小規模校の閉校・統廃合が進む中、本町も例外でなく、年々児童数が減少し学校数が減少している。本校もいつまで存続できるのかという状況である。しかし、学校は、地域の文化センターであり、地域住民のふるさと意識やまとまりをつくる大きな役割を担っている。私たちは、そんな家庭・地域の期待に応えるために、全職員が一丸となって、小規模校の良さを最大限に生かして、児童一人一人の個性や能力に応じたきめ細かな指導・支援を行いながら、児童が「今日も学校に来て良かった。」と思えるような魅力ある開かれた学校経営にあたっていく必要がある。

## II 経営の理念

### 1 子どもの良さや可能性を伸ばす

子どもたちに、小規模校の長所を生かした教育を保障することこそ、本校教職員の責務とおさえない。子どもの思考力・判断力・実践力は、基礎的・基本的な学力の定着の上に育まれる。複式校という壁はあっても、少人数学級という大きな利点を生かし、一人一人の子どもの良さや可能性を広げ、伸ばす学校経営を目指す。

### 2 プロの自負を持ち、自己研鑽に励む

教師は専門職である。しかし、日常実践で「会心の授業ができた」と自負できることは数少ない。より良い授業実践・教育者としての職能向上のため自己研修に努めると共に、相互に高めあう校内研修の充実が望まれる。

### 3 職員の学校経営への参画意識を高める

学校経営は校長の判断と教職員の自発的参加とが、車の両輪のようにバランスよく回転していることが望ましい。学校教育目標達成に向けて、その課題や問題点を共有化し、自らがなしえる最良の方策や実践を交流しあうことによってより確かなものになる。そのためには、学校経営に参画する強い意志と姿勢が望まれる。

### 4 保護者・地域との連携を充実させる

子どもへの教育には保護者・地域の人々の思いや願いがある。それらを知り、連携し信頼を得ることが大切である。家庭訪問、各種懇談会や学校・学級たより等の他に、地域行事・会合等に積極的に参加し、学校の願いと保護者・地域の人々との願いを共通化し「宮戸の教育」の充実を期したい。

### Ⅲ 学校教育目標

『豊かな心を持ち、生涯学び続け、意欲を持ってたくましく生きる人間の育成』

本校教育目標は、児童に、人間尊重の精神に基づき新時代を創造するための「生きる力」を培い、社会の一員としての連帯意識を身に付けさせ、主体的で強い意志を持たせるために設定した。

(1) <b>かんがえる子</b> ・・・・・・・・よく考え、創り出す子	(知)
(2) <b>やさしい子</b> ・・・・・・・・心豊かで、思いやりのある子	(情)
(3) <b>つくす子</b> ・・・・・・・・自分のよさを生かし、人のためになる子	(意)
(4) <b>げんきな子</b> ・・・・・・・・心身ともに健康で最後までやりぬく子	(体)

### Ⅳ 学校課題

【**豊かな心を持ち 意欲的に たくましく生きる宮戸の子の育成**】

「豊かな心を持ち」 → 美しいものに感動し、集団生活の中で互いを理解し、**思いやりを持って行動する子** (やさしい子・つくす子)

「意欲的に」 → 自ら課題を見つけ、**進んで解決・努力する子** (かんがえる子)

「たくましく生きる」 → 心身ともに健康で、知恵と勇気を持って粘り強く**最後までやりぬく子** (げんきな子)

### Ⅴ 経営の方針

- 1、確かな学力を身につけさせ、子どもの学ぶ意欲を大切に学習指導を推進する。
- 2、豊かな心を育む学校づくりを推進する。
- 3、健やかな身体をつくる教育活動を推進する。
- 4、自ら資質向上に努める教師集団づくりを推進する。
- 5、地域の特性や素材を生かし、創意と工夫に満ちた開かれた学校経営を推進する。
- 6、保護者や地域との連携を図り、安全・安心の学校づくりを推進する。

## VI 経営の重点

### 1、学力向上に向けた基礎・基本の定着と個々の児童の実態に応じた指導の工夫・改善

- ① 基礎・基本の徹底と CRT 標準学力テスト・チャレンジテスト等の有効活用
- ② わかる授業に向けた教師の指導力向上
- ③ 学びが定着するための学校・家庭の連携強化

### 2、心のふれ合いを深めた豊かな心の育成

- ① 教師と児童、児童相互の心のふれ合いを大切にした豊かな心の育成と場の設定
- ② 朝読書や読み聞かせ、音読大会等の読書活動を通じた感性の向上
- ③ 道徳の授業の充実を図り、基本的生活習慣の安定した定着化

### 3、自ら鍛えるたくましい人間の育成

- ① 早寝・早起き・朝ご飯の朝型生活リズムの定着
- ② 5分間走を取り入れる等体育科学習の充実とのびっこタイムの工夫改善
- ③ 性教育と食育の指導計画の充実と実践

### 4、創意と工夫に満ちた協力体制の確立

- ① 教職員が互いに啓発し合い、実践・検証する過程での積極的な経営参画
- ② 教職員の資質を生かし、具体的な教育計画・実践・評価を実施した学校改善
- ③ 職能向上のための自己研鑽に努めるとともに、相互に高め合う校内研修の充実

### 5、地域の自然環境や人材の活用、ボランティア活動等による教育活動の実践化

- ① 地域の自然や歴史、地域の教育力や特性を生かした教育活動の推進
- ② 地域の自然環境や人材の積極的な活用
- ③ ボランティア意識の高揚と実践する態度の育成

### 6、家庭・地域との連携を図った特色ある学校づくり

- ① 家庭や地域の信頼を培う、開かれた学校づくりの推進と学校評価
- ② イモッペ地蔵祭り等の地域行事への積極的参加や協力
- ③ 少人数特認校としての情報発信と特色ある学校づくり

## VII 本校の望む学校像と教師像

### 1、学校像

「児童にとって楽しく学びたくなる学校」

- ・児童一人一人が大切にされる
- ・学び方がわかり、やる気がおこる
- ・思いやりのある優しい友達がいて自分の存在感がある
- ・明るく挨拶を交わし、気軽に話し合える先生がいる

「保護者にとって信頼でき、わが子を学ばせたい学校」

- ・子どもを安心してまかせることができる
- ・子どもに対する先生の誠意と熱意がみられる
- ・大事なことをきちんと指導してくれる

「教師にとってやりがいがあり、勤めたい学校」

- ・子どもたちの成長していく姿がつかめられる
- ・同僚や地域・父母から認められる
- ・職員室が和やかで活気がある

◆ 楽しい学校・信頼される学校とは、学校の環境や条件が教育的に整備されることはもちろんだが、全ての子どもや保護者が自分たちのことを理解し誠意と熱意に満ちた指導により、職員一人一人が心から安心して過ごすことができる学校である

◆ やりがいのある学校とは、教師が教育者として常に向上心を持ち、自分を改革できる学校であり、厳しさや協働性のある職場である

### 2、教師像

「子どもとともに歩む教師」

- ・こどもの実態を明確に把握し、個に応じた指導により子ども一人一人を生かし個性を伸ばす

「絶えず研修に努め、授業で勝負する教師」

- ・日常の研修や授業を大切にし、指導後の内容分析や自己評価をしながら常に実践を積み上げ、子どもの姿で勝負する

「子どもの側に立ち、子どもの心がわかる教師」

- ・子どもの考えを洞察し、子どもの自立に対し共感をもって支援する

「礼儀正しく、進んで働く教師」

- ・明るい挨拶や正しい言葉を交わし、率先垂範で共に働き子どもの模範を示す

「時間を守り、時間とともに行動する教師」

- ・新鮮な一日の生活や授業の終始のけじめをつけ、綿密な計画のもと、子どもに楽しい学校生活を送らせることができる

「心も体も健康で、若さと情熱を持つ教師」

- ・心にゆとりを持ち、自分の健康管理に留意し、若さと情熱をもつ